

浸水・冠水被害対策について

《水害について》

8月24日から25日にかけての集中豪雨により、一部地区で浸水・冠水被害が発生しております。

〈稲作〉

現在、水稻においては、登熟期入っております。今年にはばらつきはありますが出穂期が平年より5日～10日程度遅くなっております。

今回、浸水・冠水した圃場は水が引いた後、速やかに以下の対策を講じて下さい。

- ◆冠水によりいもち病などの病害が発生しやすくなることから、24時間以上水が引かなかったほ場は防除をお願いします。

【対策】

- ◆冠水、浸水した稲体は体内水分を失いやすいので、ほ場を急に干すのは厳禁です。また、水田内に泥水が溜まっている場合は、一度泥水を抜いてきれいな水を入水するようにして下さい。茎葉に付着した泥は防除と合わせて洗い落すか、水で洗い落すようにして下さい。

【防除薬剤】

○いもち病

ビームゾル	1,000倍	※収穫7日前まで	} ビーム剤の使用回数 は3回までです。
ビーム粉剤	3～4kg/10a	※収穫7日前まで	

〈大豆〉

- ◆冠水、浸水したほ場については、排水の徹底に努めて下さい。

〈全般〉

- ◆河川の氾濫による浸水で、流木・ゴミ等が圃場へ流入した場合は、圃場の外へ除去して下さい。

※冠水した圃場の収穫・調製について

- ◆冠水した圃場については、通常(冠水してない)圃場と別々に刈取り・乾燥・調製を行うようにし、出荷時も分かるように分けて行うようにして下さい。